

不登校支援について

不登校児童・生徒の状況

本校では、不登校の生徒が各学級 3 名程度いる。昨年度、当該生徒は、毎週金曜日の放課後に保護者と共に登校していた。対応として、保護者、本人と担任との面談、週 1 回の電話連絡、別室登校、SSW、SC、教育支援センターなどとの連携を行ってきた。今年度は、月に 2～3 回程度別室に登校することができている。

具体的な取組

本校では週に 1 回（水曜日）、教育相談部会を設定し、不登校生徒の様子や新規で休みが多くなってきた生徒、生徒間のトラブルなどにより、注意が必要な生徒の情報共有を行っている。また、教育相談部会で検討した内容については学年会や職員会議を通じて全体に共有している。SSW、SC、支援員などとも連携をし、チーム学校として支援をしている。

本校では教室に入りづらい生徒が、登校しやすくするよう別室（ステップルーム）を用意している。1 日 1 時間、支援員と一緒に勉強をしたり、好きなことをしたりすることができる。不登校ではない生徒も利用できるため、不登校の未然防止にもなっている。



本校では、毎月「いじめアンケート」を実施していたり、4 月には担任との全員面談、新 1 年生は SC との全員面談、夏季休業前と明けには「心と体のアンケート」を行ったりしている。また、冬季休業前には希望者を対象に教員との面談を行うなど、生徒の SOS に教員が気付くための活動を多く取り入れている。

今年度から ICT 機器の活用を行っている。学校に登校したい気持ちはありながらも、実際に学校へ足を運ぶことが難しい生徒や家庭との連絡が取りづらい生徒にタブレットを貸し出し、ビデオ会議システムを活用して連絡を取り合っている。連絡ツールとしての活用だけでなく、オンライン学習支援サービスを使用して勉強をしている生徒もいる。

成果

家庭訪問や電話連絡、他機関との連携により、本人確認ができない生徒はいない。多くの生徒が別室登校することができている。しかし、家庭となかなか連絡が取りづらい生徒もいるため、積極的に他機関と連携することに努めている。

課題

学校に登校したい気持ちはありながらも、実際に学校へ足を運ぶことが難しい生徒や不登校の未然防止の観点から積極的な対応策として、ステップルームの他に新たなコンセプトのもとでの別室開設を検討している。